

すこやか 5月号

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA

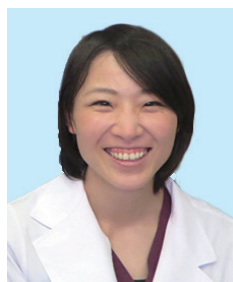
第215号
月号



特集

Special
Collection

周産期医療について



産婦人科 副医長
佐藤 沙貴

はじめに ～周産期とは？～

周産期とは、妊娠22週から出生後7日までの期間のことをいいます。この期間は、母体、胎児および新生児の命にかかわる病気や症状が多く発生する期間です。そのため、周産期医療は、産科・小児科双方からの一貫した総合的な医療体制を敷き、妊婦の体調管理や合併症のフォロー、出産時の適切な措置、お腹の中の胎児、生まれてきた新生児の管理を徹底して、母子ともに安全なお産をするためのトータルケアを行っています。

妊娠中の合併症

妊娠中の合併症には、妊娠悪阻、切迫流産/早産、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、前置胎盤、常位胎盤早期剥離など妊娠初期から後期にかけてさまざまな疾患があります。特に妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病を発症した妊婦は、その後、本態性高血圧や2型糖尿病を発症する確率が高くなることが知られています。医師が妊娠中から分娩後まで適切な処置を行うことは、出産後の母親の健康を長期的に守って行くことに繋がります。

当院での妊婦健診

一般的にリスクのない単胎妊婦では、妊娠11週までに計3回の妊婦健診が目安になります。妊娠12週以降は4週毎、妊娠24週以降は2週毎、妊娠36週以降は1週毎の妊婦健診を行っています。妊娠初期には正常な妊娠であることを確認し、感染症の既往や基礎疾患の有無などを確認します。妊娠中期には、胎児の発育や大きな奇形がないか、切迫早産の兆候がないかなどをチェックしています。妊娠後期には、適切な分娩方法を選択し、分娩時期を見極めていきます。

昨今、女性の社会進出により出産平均年齢は上がっており、それに伴い妊娠中の合併症や分娩時のリスクは増えています。当院は三田市内で唯一の分娩取り扱い施設であり、総合病院でもあります。健康な方はもちろん、基礎疾患がある方や高齢出産の方でも妊娠初期から産後、新生児の管理まで安心安全なお産ができるように努めています。



部署紹介

4階東病棟

4階東病棟 課長 赤井 信濃

4階東病棟は、産婦人科・小児科を中心とした混合科の女性病棟です。0歳から100歳代の方まで幅広い年齢層の方が入院されています。当院のほとんどの診療科患者さんの入院を受け入れています。その中の多くは産婦人科の患者さんです。三田市で唯一のお産のできる当院では年間約300件の出産をサポートしています。

お産を迎える妊婦さんへは、アドバンス助産師（自立して妊産褥婦の方へケアできる助産師）が助産師外来、マタニティクラス、両親学級、お産の日イベントなど多くの機会を設けて出産準備を行っています。妊娠にあたり妊婦さんが作成したバースプラン（どのようなお産をしたいか）を助産師が受け止め、ご家族とともにお産に臨めるよう助言や支援を行っています。出産は自然分娩を基本としていますが、医師の診断により、誘発分娩や帝王切開となる方もおられます。入院中の赤ちゃんの状態は小児科医師が診察しています。安心して出産していただけるよう24時間の受け入れ態勢を整えています。

出産後は育児について支援を行い、退院後の母乳外来やハッピーママの会で赤ちゃんとお母さんのケアを継続しています。また、当病棟と産婦人科外来の連絡を密にし、市の健康増進課とも連携するなど安心して子育てを行えるようにしています。

当病棟では妊婦さんの他、婦人科で手術を要する方、外科で乳房の手術の方、消化器疾患で胃や腸の内視鏡の検査の方、整形外科で骨折の手術や安静治療の方、手術を受けるお子さん、科を問わず主に点滴治療や傷の処置を受ける方が入院されています。

病棟の助産師・看護師は、専門職業人として幅広い知識と技術を身につけるため、日々研鑽し勉強会やシミュレーション研修を行っています。今後も安心して入院生活を送っていただけるようお手伝いし、患者さん一人ひとりの声に耳を傾け、安全に治療ができるよう努めていきたいと思っています。

※上記のイベントなどは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を見合わせています。今後の状況については病院ホームページなどでお知らせします。



研修風景



申し送り風景



診療部では
新任の医師を迎え、
より一層日々の診療に
力を入れて参ります。
よろしくお願いします。



消化器内科 医長
深澤 厚輔 ふかざわ こうすけ

出身地
兵庫県
専門分野
内視鏡診断・治療

ひとこと

4月より消化器内科へ赴任しました深澤厚輔と申します。微力ながら地域の皆様のお役に立てるように努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



整形外科 医長
岩倉 崇 いわくら たかし

出身地
京都府
専門分野
骨折・外傷、人工関節、
骨粗鬆症

ひとこと

4月より整形外科に赴任しました。骨折・外傷や人工関節、骨粗鬆症を専門にしており、早期の社会復帰や健康寿命の延伸を目指し、地域医療に貢献できるよう努めていきます。よろしくお願いします。



外科 副医長
池田 太郎 いけだ たろう

出身地
大阪府

ひとこと

4月より外科に赴任しました池田です。三田をはじめとする地域のために頑張ります。よろしくお願い致します。



皮膚科 医員
松澤 惇 まつざわ じゅん

出身地
兵庫県

ひとこと

4月より赴任しました皮膚科の松澤と申します。地域の皆様に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。



外科 医師
安達 祐里 あだち ゆかり

出身地
神奈川県

ひとこと

4月より外科に赴任してまいりました安達と申します。地域の皆様のお役にたてるよう頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



整形外科 医師
大澤 慎 おおさわ しん

出身地
兵庫県
専門分野
整形外科一般

ひとこと

4月から整形外科で勤務させていただいている大澤慎と申します。少しでも多く貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



脳神経外科 医師
澤村 壮 さわむら そう

出身地
京都府

ひとこと

4月から脳神経外科でお世話になっている澤村と申します。
ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、一生懸命地域の皆様のために、尽力して参りたいと存じます。よろしくお願い致します。



耳鼻いんこう科 医師
高橋 雅之 たかはし まさゆき

出身地
兵庫県

ひとこと

4月から耳鼻咽喉科に赴任してまいりました高橋です。
地域の皆様に貢献できるよう誠心誠意診療に従事していきます。よろしくお願い致します。



初期研修医
平尾 聖人 ひらお まさと

出身地
兵庫県

ひとこと

4月より初期研修医としてお世話になっております平尾と申します。
新しい環境でご迷惑おかけすること多々あるかと思いますが、精一杯頑張りますので、ご指導の程よろしくお願い致します。



初期研修医
森本 望 もりもと のぞみ

出身地
大阪府

ひとこと

4月から初期研修医としてお世話になっております森本と申します。
三田市民病院の一員として皆様のお役にたてるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



初期研修医
中川 篤志 なかがわ あつし

出身地
兵庫県

ひとこと

4月から初期研修医としてお世話になっております中川と申します。
三田市民病院の一員として一日でも早く皆様のお役にたてるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



初期研修医
芦原 晨 あしはら しん

出身地
大阪府

ひとこと

4月から研修させて頂いている初期研修医の芦原と申します。
1年という短い期間ではありますが、皆様のお役にたてるように頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。





在宅での看取りについて

看護部退院支援リンクナース委員会では、患者さんの療養の場が地域へと変化するなかで、継続的に一貫した看護が提供できることを目的に取り組んでいます。

今回、在宅医療に向けて少しでも役立つ情報をお伝えできればと思います、全3回にわたってテーマごとに紹介させていただきました。今回は「在宅での看取り」です。ご家族と話し合っていただけるきっかけになれば幸いです。



Q：在宅での看取りで家族ができることは何ですか？

A：「特別に何かをしてあげる」と考える必要はありません。可能な限り普段通りの生活を送れることが一番です。自宅での生活は慣れ親しんだ環境であるため、ご本人らしい時間を過ごすことができると思います。そのメリットを十分にご理解いただければと思います。

Q：母親の最期を自宅で看取りたいと考えています。自宅で看取することは可能ですか？

A：昨今、在宅での看取りを望まれる患者さんやご家族は多く、実際に人生の最期を自宅で迎えることはできます。訪問看護や訪問診療の介入、訪問入浴・訪問リハビリ・福祉用具のレンタルなどを利用することで、さらに安心して自宅での生活を送ることができます。

事前にご家族で話し合い、サポート体制を整えておくことが大切です。そのためには、介護保険の申請など事前準備が必要となります。お困りの際は、地域の包括支援センターの相談窓口、または当院の総合支援センターのスタッフや、病棟・外来スタッフにお問い合わせください（当院入院中は総合支援センター内の退院支援連携室、外来通院中は入院支援連携室が窓口になっています）。

ご家族だけで頑張るのではなく、かかりつけ医（在宅医）をもち、訪問看護・訪問診療などの在宅医療・介護保険サービスも積極的に利用していきましょう。

【訪問看護の役割】

訪問看護は利用者のお宅を訪問し、療養上のお世話や医師の指示を受けて行える医療処置、緊急時の対応はもちろん、主治医・ケアマネジャー・薬剤師などとの連携を図り療養生活の相談やアドバイスなど、安心して生活が送れるようサポートしてくれます。訪問看護ステーションの中には24時間対応している事業所もあります。

【訪問診療とは】

訪問診療とは、通院が困難な患者さんのお宅に医師が定期的に診療にお伺いし、計画的に治療・健康管理などを行うことです。定期訪問に加えて臨時往診も行っており、24時間対応でサポートしていただける診療所やクリニックもあります。

近隣医療機関のご紹介

市民病院は地域医療連携を推進します。かかりつけ医を持ちましょう！



どうもと内科クリニック

堂本 康治 院長

令和元年10月1日から、どうもと内科クリニックとして、主に内科・循環器内科を中心に、生活習慣病である高血圧・高脂血症・糖尿病などの診療を行っています。みなさんに健康になっていただくため、医学的な根拠に基づいた指導をさせていただきます。また、高度な医療機関での治療が必要な場合には、近隣病院との病診連携(病院と診療所との連携)をとりながら地域医療に一層力を注ぎ、患者様が気軽に相談でき安心して治療を受けていただけるクリニックを目指しています。

〒669-1322 三田市すすかけ台2-3-1 えるむプラザ3階

電話：079-565-3322

診療科目：内科、循環器内科

休診日：木曜、土曜午後、日曜、祝日

診療時間 午前：9:00～12:00 午後：4:00～7:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	×	○	○
午後	○	○	○	×	○	×



たていし小児科

立石 径 院長

2012年に開院以来おかげさまで多くの患者さんにお越しいただいております。一般小児科、予防接種を中心として、食物アレルギーをはじめとするアレルギー疾患や低身長、I型糖尿病などの内分泌疾患を診療しております。入院や検査を要する場合、三田市民病院、済生会兵庫県病院などの近隣の総合病院にご紹介、さらに専門的な治療を行う場合はこども病院などの専門病院とも連携しております。

「楽しくなければ小児科じゃない」をモットーに笑顔が絶えない小児科を目指し、これからも地域の皆様に信頼される医院となれるようにスタッフ一同努力していきます。

〒669-1528 三田市駅前町13-6

電話：079-558-7871

診療科目：小児科、アレルギー科

休診日：木曜午後、土曜午後、日曜、祝日

HP 「三田市 たていし小児科」で検索してください

診療時間 午前：9:00～12:30 午後：3:15～6:45

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	×	○	×



お知らせ

三田市民病院広報誌「すこやか」をご愛読くださり誠にありがとうございます。この度、令和2年度より広報誌の発行回数を年間4回とさせていただきます。

いつも楽しみにいただいている方には大変申し訳ありません。

掲載内容については、タイムリーな情報を掲載してまいりますので、今後ともよろしくお願いします。

編集後記

新年度が始まって早一ヶ月、慌ただしい4月が過ぎて、気持ちのよい5月がやってきました。新人の方、異動された方も、新しい環境にだいが慣れてきた頃でしょうか？ 過ごしやすい気候である反面、五月病に代表されるように体調を崩しやすい時季でもあります。皆さん「頑張りすぎず頑張る」乗り切りましょう！

すこやか(第215号)
令和2年5月発行

【編集・発行】
三田市民病院
学術広報推進委員会



三田市民病院

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1
TEL.079-565-8000 (代表)
<https://www.hospital.sanda.hyogo.jp/>